

2014年11月12日

平成26年度同友部会見学会

触媒工業協会
同友部会

平成26年度同友部会見学会を実施しました。

日 時： 2014年11月10日(月)午後

見学先： 電力中央研究所 横須賀地区

電力中央研究所横須賀地区は三浦半島の西岸(相模湾側)に位置し、東に半島の山塊を眺望する自然に恵まれた環境にあります。

25万6576平方メートルの広い敷地を擁し、電気・機械・化学・原子力工学分野の研究者を核に約230名の職員が、基礎研究から実用研究まで幅広く取り組んでおります。

当地区は、1977年に前身である(財)超高压電力研究所の事業を継承し、(財)電力中央研究所超高压電力研究所として発足しました。

その後、1985年に大規模新技術の開発拠点とすべく横須賀研究所として拡充し、石炭利用技術や電気の新しい利用技術、機能材料の創製技術の開発などを加えながら、様々な研究開発を展開して参りました。

2004年4月、当初は研究力の一層の強化を図るため、研究試験機関を8つの専門分野別研究所に再編し、当地区には、電力技術研究所・エネルギー技術研究所に加え、地区運営ならびに研究所支援に関わる業務を行う横須賀運営センターの4つの組織が設置され、現在に至っています。

(以上、電力中央研究所資料より)

今回は数ある施設の中から4ヶ所の施設を見せて戴きました。

1. 石炭燃焼特性実証試験装置
2. 燃料高度利用実験棟
3. ヒートポンプ研究開発実験棟
4. 高電圧絶縁実験棟

今回の見学会は9社、12名の参加があまりました。見学会のアレンジ、詳細な説明などご協力くださいました電力中央研究所の皆様には感謝したいと思います。





見学の前に説明を受けます